

# 解答プリント「中学社会・歴史的分野」

## ■発展プリント

### 単元:13 第二次世界大戦後の日本

【評価の観点】 ㉞：思考・判断・表現 ㉟：技能 ㊦：知識・理解

| 解答例   | 解説   |
|---|--|
| <p>㉞ (1) エ</p> <p>㉞ (2) 自作地を増やし、自作農を創設するため。(19字)</p> <p>㊦ (3) ① 1946年11月3日</p> <p style="padding-left: 40px;">② 1947年5月3日</p> | <p>㉞ (1) ア 1945年11月に、戦前の日本経済を支配するとともに、軍国主義を支えたとして、三井、三菱といった財閥の解体が命じられた。</p> <p>イ 労働者の団結権・団体交渉権・団体行動権を保障した労働組合法が1945年、労働争議の解決を図る労働関係調整法が1946年、労働条件の最低基準を示した労働基準法が1947年に制定された。</p> <p>ウ 極東国際軍事裁判（東京裁判）は1946年に開かれ、1948年に判決が言い渡された。</p> <p>エ 学制は1972年に明治政府により出された近代的な学校制度の基本示したもの。1947年に成立した教育基本法により9年間の義務教育が定められた。</p> <p>(2) 北海道を除く地域では、所有する土地に居住している地主の1町歩以上の土地が、強制的に買い上げられて、小作農に安く売り渡された。</p> <p>(3) ① 公布とは法令を一般の人に知らせること。現在、文化の日とされている。</p> <p>② 施行とは実際に法令を実施すること。現在、憲法記念日となっている。</p> |
| <p>㉟ (1) ソビエト連邦<br/>西ドイツ<br/>東ドイツ</p> <p>㉞ (2) イ→ア→ウ</p> <p>㉟ (3) アジア・アフリカ会議</p>  | <p>㉟ (1) ソ連 1991年、バルト三国（リトアニア、ラトビア、エストニア）の分離独立後、ロシア・ウクライナなどがCIS（独立国家共同体）を結成したことで、ソ連は消滅。</p> <p>西ドイツ・東ドイツ 1989年、東西対立の象徴であったベルリンの壁が崩壊すると、東ドイツでは急速にドイツ統一を求める声が高まり、1990年10月、西ドイツが東ドイツを編入する形でドイツ統一が実現した。これにより、東ドイツ、西ドイツは消滅した。</p> <p>(2) ア ワルシャワ条約機構は、1955年、ソ連を中心にポーランド、東ドイツ、チェコスロバキアなど8か国が北大西洋条約機構に対抗して結成。1991年に解散。</p> <p>イ 北大西洋条約機構は、1949年にアメリカを中心として結成された反ソ軍事同盟。ソ連消滅後も存続している。</p> <p>ウ ベルリンの壁は、1961年、東ドイツからの亡命者を阻止するため築かれた。</p> <p>(3) 会議は、インドネシアのジャカルタで開かれた。</p>                       |